

2026年8月26日

HEROZ株式会社

**HEROZ、日本生命におけるAI内製化・自走体制の確立に向けた共創型伴走支援
(Business Embedded Model)を開始
～AI内製化支援と業務プロセス再設計を推進～**

HEROZ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役CEO:林 隆弘、以下「HEROZ」)は、日本生命保険相互会社(以下「日本生命」)において、AI内製化・自走体制の確立に向けた「共創型伴走支援(Business Embedded Model、以下「BEM」)」を開始したことをお知らせいたします。

本プロジェクトでは、従来の要件定義・一括発注型のシステム開発とは異なり、HEROZが日本生命とともに業務の本質を理解したうえで、業務課題に即した要件を段階的に具体化していくアプローチを採用します。局所的な最適化(点)に留めず、業務全体を俯瞰した再設計(面)を行いながら、社内におけるAIモデル・アプリケーションの「内製化支援」および「活用領域の拡張」を並走して進めてまいります。

**日本生命****HEROZ**

■ 本取り組みの背景と目的

生命保険業界において、多様化する顧客ニーズへの迅速な対応と、業務効率化・高度化を両立するデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は最重要課題となっています。日本生命ではこれまでも先進的なテクノロジーの活用を推進してきましたが、変化の激しいビジネス環境や急速に進化するAI技術に柔軟かつ迅速に適應するためには、社内における「AI内製化」と「持続的な自走体制の確立」が不可欠でした。

そこで、HEROZが強みとする高度なAI開発ノウハウと、伴走型の組織変革アプローチを融合。単なるシステムの受託開発ではなく、プロジェクトを「一緒に行う」プロセスを通じてナレッジのインソーシング(内製化)を徹底し、将来的な運用や変化に対しても、日本生命が自社主導で柔軟に対応できる組織適応力の醸成を目指します。

■ 共創型伴走支援(BEM)の特徴

本プロジェクトは、以下の3つの軸をもって従来のシステム開発支援との差別化を図ります。

- **【業務変革】仮説検証型アプローチと全体最適のデザイン**: 業務課題を起点に、日本生命とHEROZが一体となって、仮説検証を重ねながら最適な要件をともに創り上げます。また、個別業務の「点の最適化」ではなく、業務全体のプロセスを俯瞰した「面の再設計(業務変革)」を推進します。
- **【自走化】ノウハウの移転による持続的な内製化**: 開発プロセスを共有・並走することで、HEROZの先端AIノウハウを日本生命の社内へ直接トランスファーします。運用や新たな変化に対して日本生命が自社で対応できる体制を確立します。
- **【組織変革】変化に揺るがない組織適応力の醸成**: 市場環境や技術の進化に合わせ、日本生命の社内主導で戦略や開発方向性を柔軟に転換できる強靱な対応力を養い、変革を根付かせます。

■ 今後の展望

HEROZは、AIモデルやAIエージェントの開発支援に留まらず、業務理解・プロセス設計・運用定着までを一体で支援するBEM(Business Embedded Model)を通じて、企業のAI活用を「導入」から「競争力」へと進化させてまいります。

【HEROZについて】

HEROZは、世界を驚かすサービスを創出することを目指すAI企業です。将棋AIの研究開発から生まれた独自AIを軸に、ディープラーニング(深層学習)等の機械学習の研究開発や、生成AI SaaS「HEROZ ASK」の開発など、ビジネスでの実戦的なAI活用を続けています。私たちの技術・サービス開発によりAI革命を起こすことで、各産業にパラダイムシフトを起こし、新しい未来を創ることに挑戦しています。

会社名 :HEROZ株式会社

所在地 :東京都港区芝5-31-17 PMO田町7F

設立 :2009年4月

代表者 :代表取締役 林 隆弘

事業内容:AI技術を活用したサービスの企画・開発・運用

URL :<https://heroz.co.jp/>

【本件についてのお問い合わせ】

HEROZ株式会社 広報担当

URL: <https://heroz.co.jp/contact/>

Email: pr@heroz.co.jp

以上